

(対象期間：2019/12/9～2019/12/13)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年12月13日)



【株式市場】

インドネシア株式市場は、週の前半は様子見の動きとなったものの、その後、米連邦市場公開委員会（FOMC）の結果がハト派的であったことや、米中貿易協議の第一段階の合意を受け上昇しました。インドネシア政府は景気が減速する中で、財政赤字の上限規制（対GDP比3%）の緩和を検討していると述べ、金融政策と並行して経済成長を下支えする姿勢を示しました。セクター別では、鉱業、金融などが上昇した一方で、消費財、インフラ・公益などは下落しました。

2019/12/6	2019/12/13	変化率
6,186.87	6,197.32	+0.17%

【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年12月13日)



【債券市場】

週初は米中貿易協議などのイベントを控え様子見となりましたが、週の半ば、政府が財政赤字の上限規制を緩和するとの報道を受けて外国人投資家からの売りが見られ、インドネシア10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、米中協議の第一段階の合意を好感する動きも見られましたが、引き続き外国人投資家による利益確定売りが見られ、利回りは週末にかけてさらに上昇しました。

2019/12/6	2019/12/13	変化率
7.111	7.233	+0.122

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年12月13日)



【為替市場】

週初は米中貿易協議などのイベントを控え狭い値幅で推移しましたが、その後、債券市場で外国人投資家による売りが見られる中で、ルピアは対米ドルで弱含みました。週末にかけて、FOMCで当面の緩和姿勢が確認されたことや、米中協議の第一段階の合意を受けて米ドルが弱含み、ルピアは対米ドルで上昇しました。対円でも、米中協議や英国の下院総選挙など目先の懸念材料の出尽くし感によるリスクオンから円安傾向となり、ルピアは上昇しました。

2019/12/6	2019/12/13	変化率
0.7744	0.7836	+1.19%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。